

4章 那須新首都は応える

〔影響と効果〕

これまで示してきたデザインを描くことによって想定される、国土づくりや県土づくりに対する影響と効果を概観し、構想の事前評価を試みる。

1 国家的意義と効果に対する視点

1. 国政の緊要課題に迅速・的確・柔軟に対応

○東京と国の災害対応力強化

- ・東京に地震が起きる前に迅速な移転を実現、国土の安全の緊急確保
- ・新都市の安全性・機動力確保、東京のバックアップとリダンダンシーの確保の早期実現

○国政全般の改革の契機

- ・東京との適度な位置関係で円滑に政経分離を図り、品格ある自然や歴史風土のなかで新しい政治行政、本格的な国際政治を実現

○東京一極集中の是正・均衡ある国土の形成

- ・小さな政治都市、有利な地理的条件から分散型国土の実現
- ・分権型の農山村の新都市で、東京一極集中・地域の序列関係の是正を先導

2. 最大の便益効果、最小の環境負荷で移転の目的達成

○有利な地理的条件による経済的で環境負荷の少ない首都機能移転

○フラットな地形を生かした省資源・省エネルギー、資源循環型の環境都市の実現

2 県土、地域発展に対する視点

1. 暮らし・土地利用

- 豊かな県民生活とゆとりある県土づくり、5つのテーマゾーンによる個性ある土地利用の促進
- 都市と農山村とが調和した持続可能な土地利用、地域づくりの促進

2. 交通・情報通信

- 高速道路、広域幹線から成るグリッド型広域幹線道路網の整備促進、拡充強化
- 鉄道の機能強化促進、新駅設置の促進
- 新たな交通体系・交通機関、交通システムの導入
- 国際空港等の空のネットワークの機能強化促進
- 世界と全国に開かれた情報通信網、機能の強化

3. 産業

- 高付加価値型の先端産業・サービス産業の集積促進
- 第6次産業（新しい都市農業）、新たな農林業への円滑な転換
- 東京と新都市の都市軸上、北関東自動車道沿線の物流機能の集積・高度化促進
- 国内有数の宇都宮テクノポリスの機能充実・拡充
- 多様な余暇サービス産業の集積・展開の促進

4. 自然環境

- 優れた自然や美しい景観の保全等の自然環境との調和・共生の促進
- 心のオアシスとしてのリゾート・観光機能強化、高度化促進